

ヒストリア小冊子の訂正・追加箇所VOL 1

ページ	場所	誤	正
1-2	地図のタイトル	追加	江戸時代末期の十字町地図 中村地図製
8	中央	榎本武典	榎本武憲
11	鈴木喜三郎の経歴	誠友会総裁	政友会総裁
19	下の写真の名前	太田黒五郎	大田黒重五郎
20	下から3行目、2行目	追加	に慕われ、江ノ島の
43	下から2行目	妹繁子のご主人	益田の妹繁子と瓜生大将の三女栄枝と結婚
	下から2行目	右下の写真説明追加	横井夜雨と益田鈍翁
46	大倉喜七郎の上の行	共受亭	共寿亭
47	下から10行目	伊奈製糖	伊奈製陶
49	8行目	安弘伴一郎	安廣伴一郎
50	下から3行目	この地には、	ここ小田原の別荘には、
52	小田原在住	明治43年－昭和13年	削除
52	4行目	小田原在住 明治43年	削除
	5行目	右の写真の説明	フィリピン流刑時の土産（庭にあった）
	下から4行目	榎本武典	榎本武憲（明治6年－大正13年）
	下から3行目	追加	妻（梅子）黒田清隆の長女 妻は関東大震災で圧死
54	9行目、10行目の右端	伊藤博文の写真の下の文	交付を主導した・征韓論に反対した
	12行	立件体制	立憲体制
	20行目	明治42年から・・・死亡した。	ページの最後に移動
	下から8行目	説明追加	子供ができ、本妻にしなければダメと言われ 野村の妹すみ子と離婚し梅子と再婚した。
55	読み仮名を追加	錦鶏間祇候	きんけいのましこう
59	10行目の右端	平坦	兵站（へいたん）
	欄外 兵站の解説	追加	作戦に必要な物資・人員を適切な時期に必要な場所へ運ぶ
61	14行目	山県派四天王	山縣派四天王
66	9行目	朝鮮便利公使	朝鮮弁理公使
68	下から3行目	銅像の写真説明追加	天神社階段横の瓜生海軍大将の像
69	太田黒	太田黒五郎	大田黒に変更 3か所
70	14行目	近畿、部に及ぶ	近畿、中部に及ぶ
	茶室の写真	説明文追加	野崎幻庵邸にあった茶室：葉雨庵
74	似顔絵と写真	似顔絵と写真の名前	似顔絵：嵯峨公勝、上嵯峨實勝
			下：愛新覚羅溥傑と妻浩
77	6行目 経歴の右端	写真下の見えない部分	上席部長を歴任
79	下田歌子の説明	（歌人）	教育者・歌人
80	10行目の右端	写真下の見えない部分	陸軍大尉任官、御親兵1番大隊に配属

86	5行目	滋賀と共有	志賀と共有	
87	下から3行目	詩の命名	師の命名	
88	下から4行目	栄転	栄典	
91	井上康文の似顔絵	牧野信一の似顔絵なので削除		
93	塩谷温の最後の行	魯迅に寄って	魯迅によって	
94	3行目	電気通信社	電気通信省	
	7行目	カンバック・ーモン	カーンバック・サーモン	
96	馬車鉄道の写真解説	追加	小田原馬車鉄道 湯本国府津間12.9 k m	
103	昭和9年の後ろ	削除	早川溜川付近の・・・を削除	
	下から段目左の写真説明	軽便の前に追加	早川溜川付近の軽便	
110	9行目	西部系	西武系	
	小田急ロマンスカーの種類	左上 (GSE)、右上 (MSE)、左下 (EXE α)、右下 (EXE)		
113	真ん中の右	箱	削除	
	箱根の水の権利はどこに	深良村	深良村(小田原藩領内)	
		6行目に追加	工事を1666年に友野与右エ門に依頼	
		7行目	1670年に完成させた	
	下から2行目の前に追加	芦ノ湖の貯水量を現在より2尺増やす堤防工事が防波石堤工事を条件に深良用水の1/140を仙石村7カ村へ分水する事で和解式はしたが工事も分水も行われなかった。		
最後の行に追加	深良用水は2005年世界かんがい施設遺産に登録された			
114の最後に追加		荻窪用水の電力利用は最初は箱根登山鉄道、後に東京電力		
115	1行目	ローリングダムの説明を追加	ギアで巻き上げて水を流す方式	
117	古稀案の写真説明	壊す前の庭園	壊す前の建物	
	古稀案の被災した洋館	山梨へ移築された	栃木県の山縣農場へ移築された	
	TOPIC2行目	ローマ風呂風の 前に追加	映画で見るとようなローマ風呂	
	下から5行目	思、丁重に	思い丁重に	
	欄外に記入	MRA: Moral Re-Armament 道徳再武装 閑院宮邸跡地: 相洋高校上		
119	下から5行目6行目	関東大震災以降の文	削除	
120	11行目スコリア以降	マグマが発砲しながら	マグマが発泡しながら	
122	写真の右の説明文	右の絵は	左の絵は	
123	8行目	小田原は180	小田原は爆撃対象の180都市のうち96番目	
	下から2行目	台風で流された	昭和?年の ?台風で流された 調査中	
124	タイトル	小田原戦後大火	小田原の大火	
128	小田原用水の下の行	早川河口から取水	上板橋早川河口から取水 (海拔23m)	
129	萬松院に家康長男の墓	その下の行		
	2,3行目を右記に変更	信長に謀反の疑いをかけられた家康長男 (松平信康) が切腹を命じられ、その墓を後に大久保忠世が吊った。		
	下から6行目	城の一部は破された	城の一部は壊された	
	下から4行目の上	追加	番城時代	

	次の行	追加	慶長19年 1614年 番城となる
	下から2行目3行目	番城時代 阿部正勝	削除
	阿部正次の時代	追加	1619年5万石で城主となる 4年後岩槻へ
		追加	1623年再び城代を置く、近藤秀明、高木正成
130	上2行		削除
	稲葉正勝	追加	85000石で小田原城主
	15行目	引き継いだ時	引き継いだ時の
131	上から9行目	小田原藩知事	小田原藩知事
133	江戸ピク 抜け雀	描いた籠の雀	描いた雀が絵から抜け出る落語
147	地図のタイトル	追加	小田原の旧地名入り地図
157	地図のタイトル	追加	昭和34年十字町付近の明細地図
159	上から7行目	さがみ使用金庫	さがみ信用金庫
160	右の現在頁下から14	片岡美術展	片岡美術店
163	人車100周年の地図	追加	平成8年の地図 追加記入
165	人車110周年の地図	追加	平成18年の地図 追加記入
171	地図番号20 室田	蔵相・興銀・日銀総裁	外交官・伊藤博文が暗殺時抱きかかえた
	地図番号21 結城	追加	蔵相・興銀・日銀総裁
173	地図番号78	谷崎の居住場所	地図番号55（静山荘），78の場所にも住んだ

ヒストリア小冊子の訂正箇所VOL2

ページ	場所	誤	正
20	⑥	安広	安廣
26	③⑤	安広伴一郎	安廣伴一郎
27	④②	光円寺	光圓寺
28	④④	小田原医院の場所に	居神神社の東側に
	④⑧	あった。に追加	昭和初期に東海道国道1号線が直線になり
30	報身寺	小田原七福神	小田原七福神 恵比寿
31	大蓮寺	小田原七福録壽	小田原七福神 福祿壽
32	1番下左	妙輕寺	妙經寺
30	1番上右	雨宮敬二郎	雨宮敬次郎
34	中央の写真下	北條秀治	北條秀司
	対潮閣	松下軍司	松下軍治
38	児玉源太郎	台湾提督	台湾総督
39	皆春荘	清浦圭吾居住後	清浦圭吾転出後
	門野重九郎	大蔵組No2	大倉組No2
40	黒田長成	福議長	副議長
41	蓮船寺の下	大国天	大黒天
	TOHOシネマズ小田原	場所を追加	小田原市中里313-12
76	最後の行に追加	令和6年3月20日オープン	小田原シネマ館
			栄町2-7-30みのさんビル第一
77	5行目	更楽湯	久の湯
	10行目	寿実の湯	寿美の湯、すみの湯
	中ほど	中島湯	中嶋湯
78	小田原にあった遊郭	場所を追加	新地（旧名）
	人力車仕立て	岩城万頼	岩城万蔵 閑院宮専属